



オムロン株式会社 会社紹介

会社概要

社名 オムロン株式会社
OMRON Corporation
本社 〒600-8530 京都市下京区塩小路通堀川東入
代表者 代表取締役社長 CEO 辻永順太
創業 1933年（昭和8年）5月10日
事業概要 制御機器、ヘルスケア、社会システム、電子部品、データソリューション など

創業

91年

本社所在地

京都市

グループ会社数

165社

(2024年3月時点)

売上高

8,188億円

(2023年度)

グループ社員数

2.8万人

(2024年3月時点)

※従業員数は就業人員数（当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む）

沿革

1933年

立石一真が大阪で「立石電機製作所」を創業。



オムロン創業の契機となった第1号製品はレントゲン写真撮影用タイマ。20分の1秒で正確に撮影できる当時としては画期的な製品でした。

創業者 立石一真 (1900~1991)

1945年

京都・御室に本社を移転。

御室とは元来、仁和寺のことでしたがいつしか付近一帯を指す地名となりました。



仁和寺

1990年

「オムロン株式会社」に社名を変更。

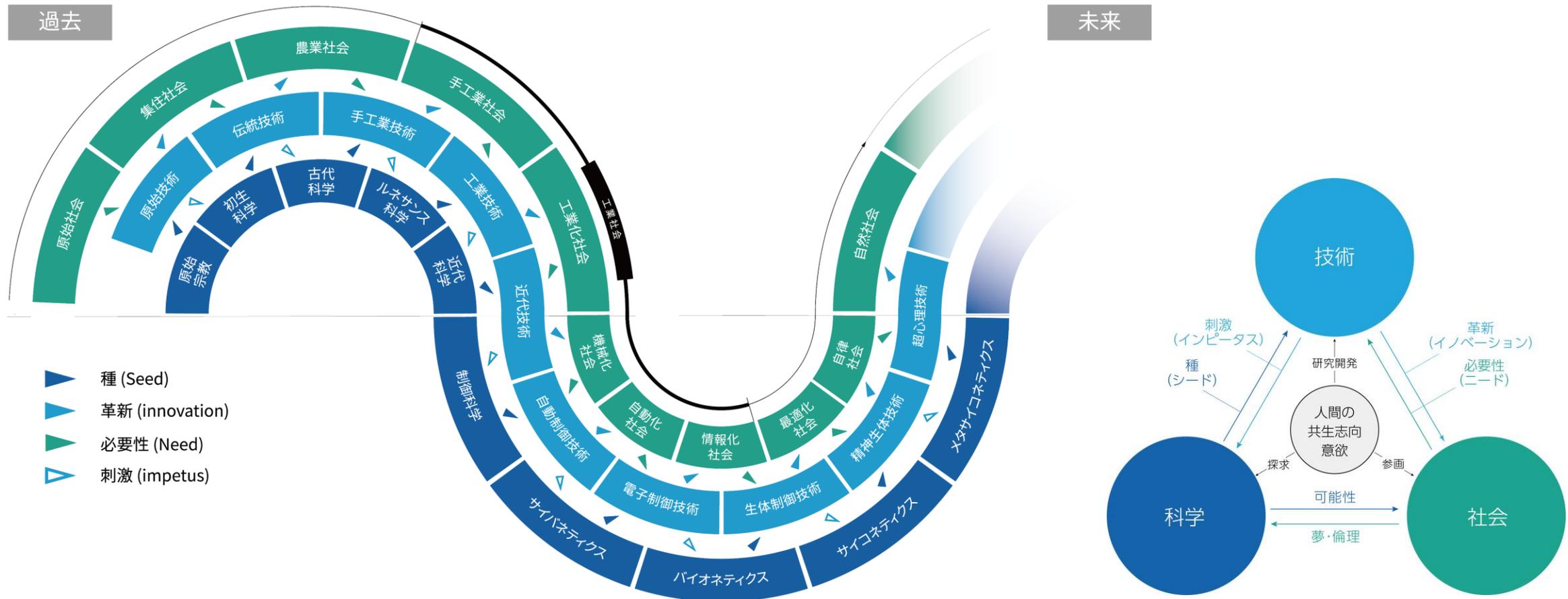


社名変更当時のロゴ

より質の高い成長企業を目指し、社会に広く深く貢献し続ける企業理念を全世界に広げていきたいという考えを今も受け継いでいます。

経営の羅針盤 未来予測理論「サイニック(SINIC)*理論」

創業者 立石一真は、科学・技術・社会それぞれの円環的な相互関係から未来を予測するサイニック理論を1970年に発表。以降、オムロンはこれを未来シナリオとし、オムロンのイノベーション創出の羅針盤として活用しています。



*サイニック (SINIC) :Seed-Innovation to Need-Impetus Cyclic Evolution の略

オムロンの「企業理念」

創業者 立石一真が社憲を1959年に制定以来、その使命を「事業を通じて、よりよい社会づくりに貢献すること」とし、世に先駆けてイノベーションを生み出すという「ソーシャルニーズの創造」へのチャレンジを続けています。

オムロン企業理念

Our Mission

(社憲)

われわれの働きで われわれの生活を向上し よりよい社会をつくりましょう

Our Values

私たちが大切にする価値観

・ソーシャルニーズの創造

私たちは、世に先駆けて新たな価値を創造し続けます。

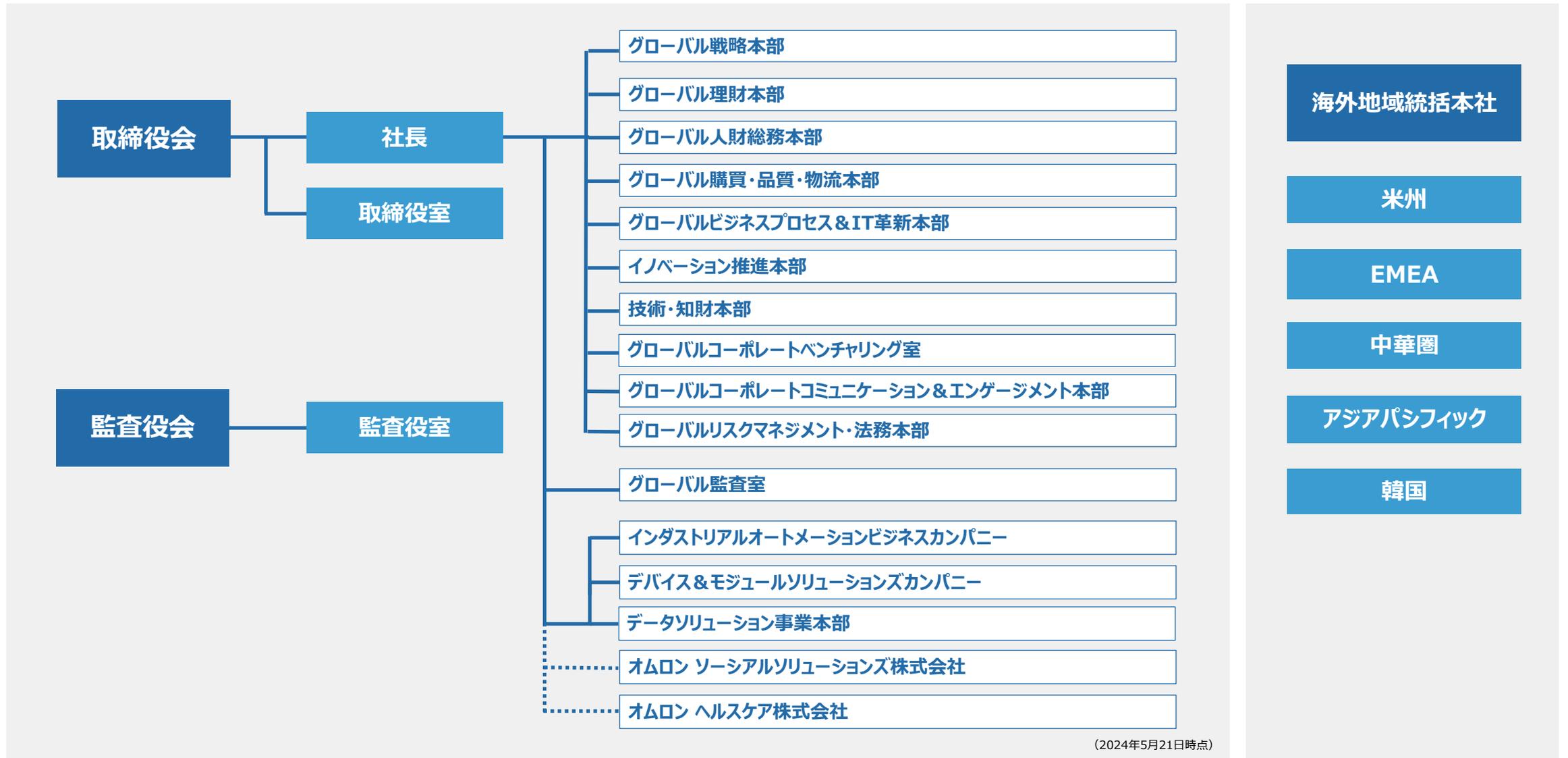
・絶えざるチャレンジ

私たちは、失敗を恐れず情熱をもって挑戦し続けます。

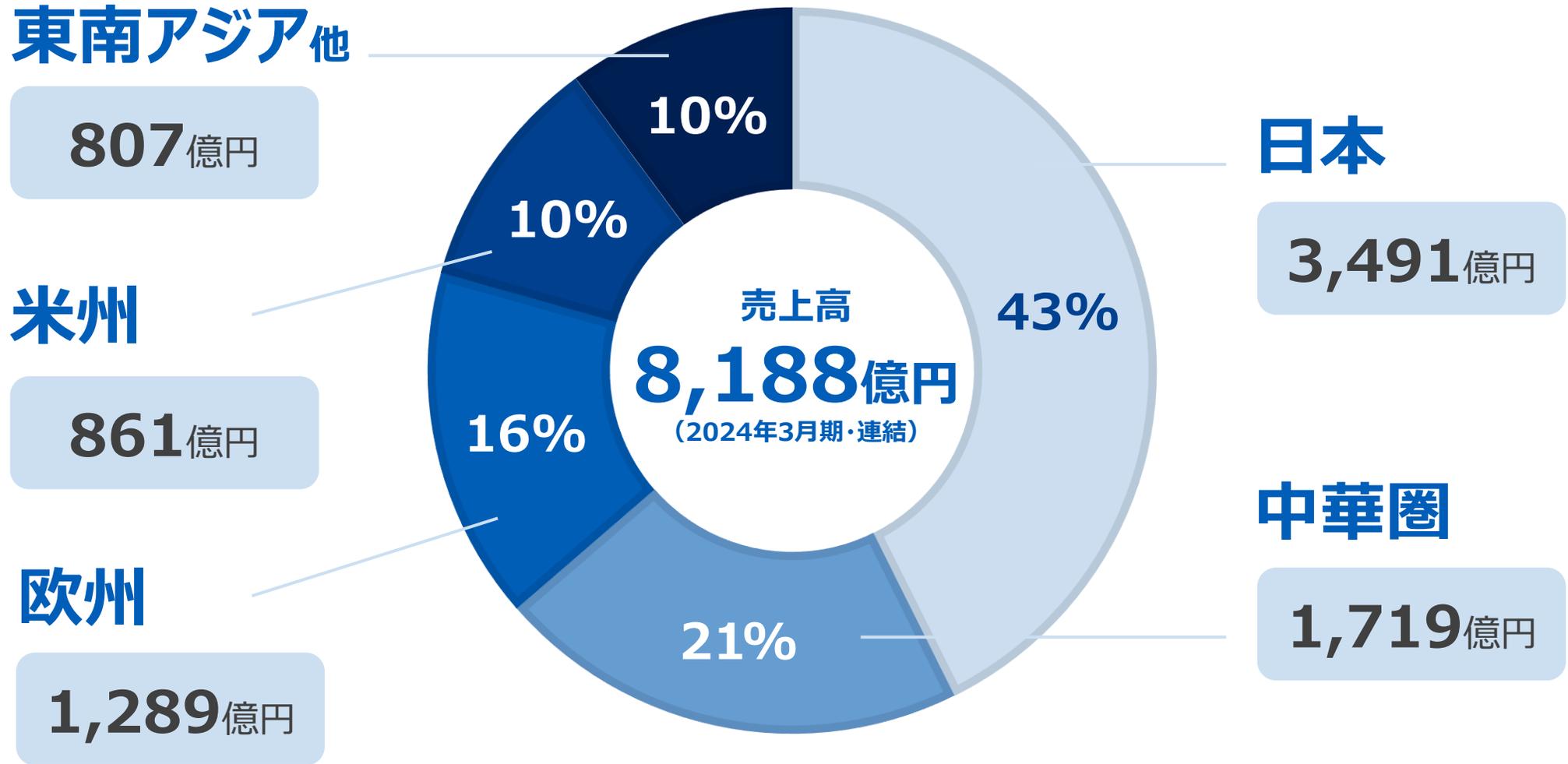
・人間性の尊重

私たちは、誠実であることを誇りとし、人間の可能性を信じ続けます。

組織図



FY23 地域別の売上高



※売上高合計には、直接売出21億円分を含む。

事業内容と売上構成

① 制御機器事業

48%

工場の自動化により、世界のモノづくり革新をリードするオムロンの主力事業
(センサ、コントロール機器、ロボット、安全機器など)



② ヘルスケア事業

18%

家庭での健康管理から医療現場まで健康な暮らしをトータルにサポート
(電子血圧計、心電計、体温計など)



③ 社会システム事業

17%

快適で安全な社会生活を目指し社会インフラのための多様なシステムを提供
(自動改札機・券売機、太陽光発電用パワーコンディショナ・蓄電システムなど)



データソリューション
(174億円)

本社他
(21億円)

電子部品

14%
(1,144億円)

社会システム

17%
(1,416億円)

ヘルスケア

18%
(1,497億円)

2023年度売上高
8,188億円
(2024年3月末時点)

制御機器

48%
(3,936億円)

④ 電子部品事業

14%

幅広い分野で人と機械を快適につなげる先進的な電子部品を提供
(リレー、スイッチ、コネクタ、センサーなど)



⑤ データソリューション事業

2%

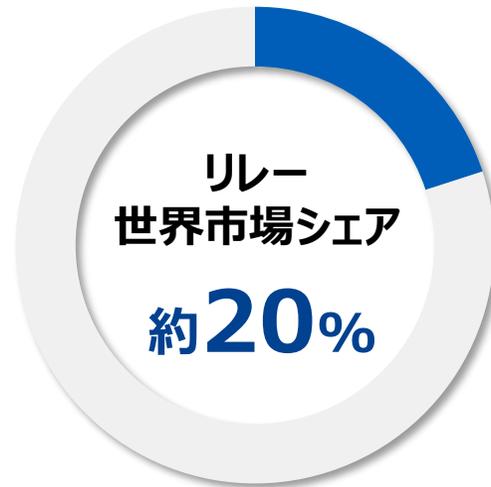
各事業の現場データを基軸としたソリューション開発および事業推進
(デバイス、コンポーネント、社会システム、ヘルスケアデータの活用など)



主要なマーケットシェア



制御機器事業



電子部品事業



ヘルスケア事業



社会システム事業



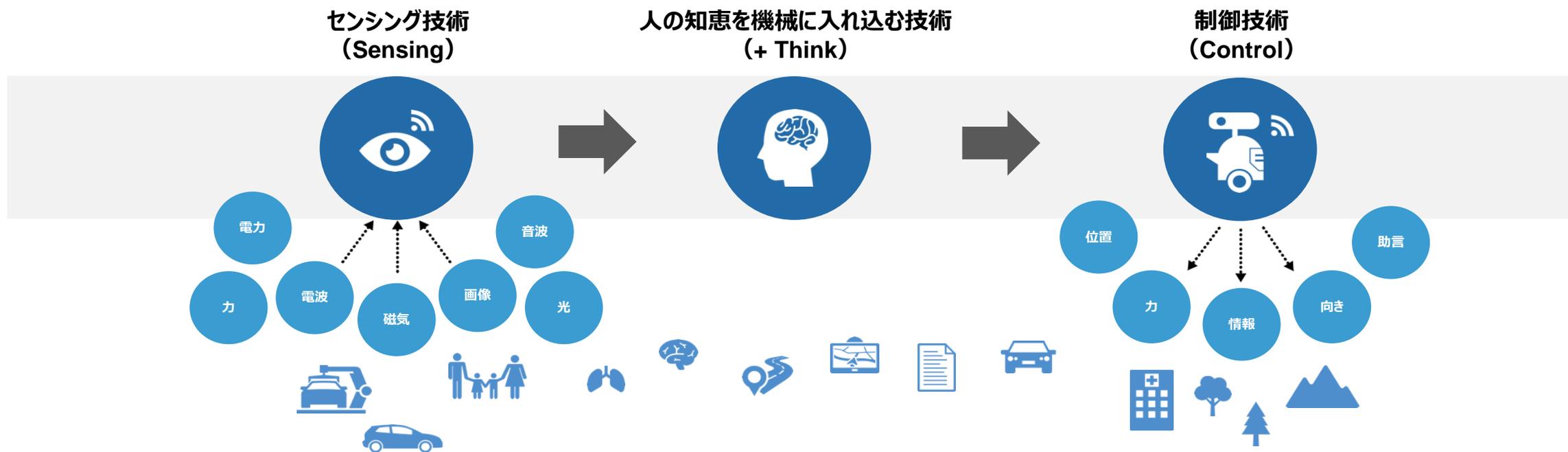
社会システム事業

(出所：NECA、当社調べ)

オムロンのコア技術

センシング&コントロールは、「情報を価値に変換する」オムロンのコア技術です。
これにThink（人の知恵）をプラスして、新しいオートメーションの創造を目指します。

Sensing & Control + Think



これまで成し遂げてきた価値創造

創業以来、ソーシャルニーズの創造に挑戦し、世の中の先駆けとなる様々なイノベーションを生み出してきました。これからも私たちは、未来を見据えた価値創造を通じて、よりよい社会の実現に貢献していきます。

社会的課題・ニーズ



オムロンのソリューション



Shaping the Future 2030

人が生きるオートメーションでソーシャルニーズを創造し続ける



人が生きるオートメーション

コア技術「センシング&コントロール+Think」の進化により、オートメーションを「協働」・「融和」へと拡張。
能力を最大限発揮させる“人が生きるオートメーション”によって社会的課題を解決していきます。

人が生きるオートメーション

人が幸せになるように、
人が能力を最大発揮できるように、
代替・協働・融和のオートメーションを
シーンに応じて選択し、社会に実装していく

人の可能性を引き出すオートメーション

個人の自律化を促し人をより幸せにする



プレイヤーのモチベーション
コントロールを実現する
卓球ロボットシステム



フォルフェウス

機械が人と共に働くオートメーション

良いものを効率的につくる



効率的にモノづくりをするため
人とロボットが協働する



協調ロボット

人の作業を担うオートメーション

人がいなくてもできる



医師による血圧測定を
家庭で自己測定



自動血圧計

駅員の手作業による
切符の検札業務を自動化



自動改札機

オートメーションの拡張

オムロンが捉える社会的課題

オムロンは、社会インパクトが大きく、自社の強みが活かせる3つの社会的課題を設定しました。

オムロンが捉える社会的課題(=成長機会)

カーボンニュートラルの実現



デジタル化社会の実現



健康寿命の延伸



事業を通じて創出する社会価値

社会的課題の解決に向けて、4ドメインで、事業の成長を通じて社会価値を創出していきます。

社会的課題	カーボンニュートラルの実現	デジタル化社会の実現	健康寿命の延伸
ドメイン・【コア事業】			
インダストリアル オートメーション 【制御機器事業 (IAB)】	「持続可能な社会を支えるモノづくりの高度化」への貢献		
ヘルスケア ソリューション 【ヘルスケア事業 (HCB)】			「循環器疾患の “ゼロイベント”」への貢献
ソーシャル ソリューション 【社会システム事業 (SSB)】	「再生可能エネルギーの普及・効率的利用と デジタル社会のインフラ持続性」への貢献		
デバイス&モジュール ソリューション 【電子部品事業 (DMB)】	「新エネルギーと高速通信の普及」への貢献		

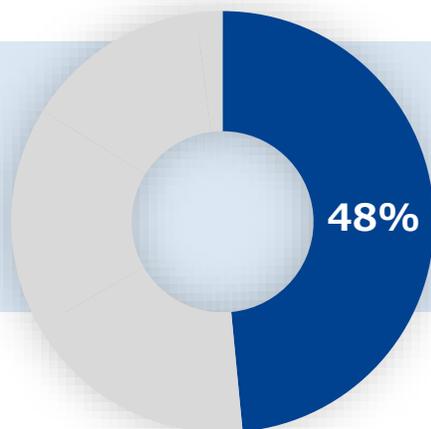
インダストリアルオートメーション ＜制御機器事業＞

■ 創出する社会価値 「持続可能な社会を支えるモノづくりの高度化」への貢献

お客様との共創を通じて、様々な業界のモノづくりの技術革新や人手不足の解消、生産性の向上を実現するソリューションを提供してきました。

これからは、地球環境との共存と、作業者の働きがいても両立させるサステナブルな未来を支える製造現場を構築していきます。

FY23売上
3,936億円



ヘルスケアソリューション 〈ヘルスケア事業〉

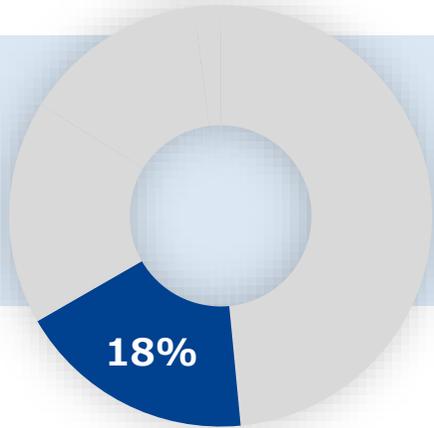
■ 創出する社会価値 「循環器疾患の“ゼロイベント”」への貢献

独自の生体情報センシング技術により、簡単・正確に健康状態を知ることができる家庭用医療機器や健康管理サービスなどを世界中のお客様に提供し、脳・心血管イベント発症の予防に貢献しています。

これからは、イベント発症を未然に防ぐ、新しい予防医療の仕組みを構築することで、誰もが自然と健康に暮らすことのできる社会、質の高い医療を誰もがどこでも受けられる社会の実現を目指していきます。

FY23売上
1,497億円

18%



ソーシャルソリューション 〈社会システム事業〉

■ 創出する社会価値

「再生可能エネルギーの普及・効率的利用と デジタル社会のインフラ持続性」への貢献

鉄道や道路交通を支える機器やサービスの提供に加え、太陽光発電や蓄電システムを用いたエネルギーマネジメント、ロボティクス技術の提供や地方の安全で豊かな暮らしを守るコミュニティソリューションなど、様々な事業領域で社会的課題の解決に取り組んできました。

これからは、カーボンニュートラル・レジリエンス・省力化の社会課題を解決していく、そのための次世代社会システムの創造に挑戦していきます。

FY23売上
1,416億円

17%



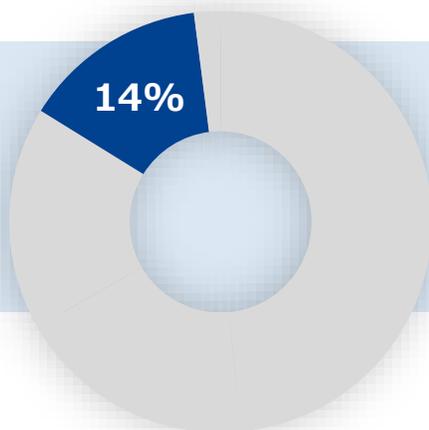
デバイス&モジュールソリューション ＜電子部品事業＞

■ 創出する社会価値 「新エネルギーと高速通信の普及」への貢献

幅広い業界の顧客に対して、電気を繋ぐ・切るためのコア部品となるリレー、スイッチ、コネクタや、さまざまな製品の目や耳になるセンサーなどのデバイスをグローバルに広く提供してきました。

これからは、製品の電動化、高周波化を実現する技術、環境負荷の低いデバイスやモジュールを軸としたソリューションで、新エネルギーの導入とデジタル化社会の実現を促進していきます。

FY23売上
1,144億円



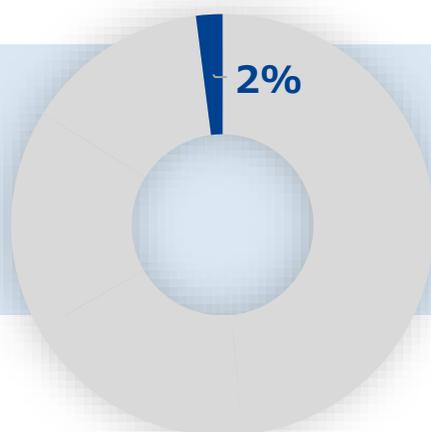
*新エネルギー；再生可能エネルギーと水素、燃料電池などの革新的なエネルギーを称す

データソリューション事業本部

<データソリューション事業>

各事業の膨大な現場データと、2023年10月にオムロングループに加わった株式会社JMDCのデータマネジメント力、ソリューション開発力を組み合わせることで、オムロンのビジネスモデルを進化させるとともに、社会的課題の解決につながる次の成長事業を創造します。

FY23売上
174億円



*新エネルギー；再生可能エネルギーと水素、燃料電池などの革新的なエネルギーを称す

イノベーション推進本部

社会的課題を解決するために近未来をデザインし、その実現に必要な戦略を明確に描き実行することで新規事業の創出に挑戦しています。新しく挑戦していく事業領域で、実現したいビジョンを“旗”として掲げ、新規事業の創造を目指しています。



Shaping the Future 2030

人が生きるオートメーションでソーシャルニーズを創造し続ける



OMRON